

第3回 丹波市生涯学習推進審議会（摘録）

開催日時	令和7年7月23日（水）午後7時00分 開会～午後8時15分 閉会
開催場所	丹波市立氷上住民センター 大会議室
出席者	【委員】 岡田龍樹会長、薦木伸一郎副会長、萬浪佳隆委員、三原智雄委員、大槻芳裕委員、山内佳子委員、藤原亨委員、西垣義之委員、下野広志委員、石塚和彦委員 【事務局】 まちづくり部長 谷水仁、市民活動課長 山崎和也、地域協働係長 前田大志、生涯学習係長 福田みさ代、主幹 藤原真理、主査 田中駿 【関係部署】 学校教育課長 小森真一、社会教育・文化財課長 吉住健吾、副課長兼社会教育係長 足立恵一
欠席者	立石実希副会長、橋本崇史委員、松井崇好委員、上山未登利委員
傍聴者	なし
次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 第2回丹波市生涯学習推進審議会の会議録について 4. 会議の公開・非公開の決定について 5. 協議事項 （1）第2期丹波市生涯学習基本計画（案）について （2）第2期丹波市生涯学習基本計画概要版（案）について （3）パブリックコメント及びフォーラムの実施について （4）今後のスケジュールについて 6. 閉会
資 料	～配付資料～ 【会議次第】 【資料①】 第2期丹波市生涯学習基本計画（案） 【資料②】 第2期丹波市生涯学習基本計画概要版（案） 【資料③】 パブリックコメント（案） 【資料④】 フォーラム（案） 【資料⑤】 フォーラムシナリオ（案） 【資料⑥】 フォーラムチラシ（案）

会議摘録	
発言者	発言の要旨
事務局	1. 開会 本日はご出席をいただきまして誠にありがとうございます。 定刻となりましたので、ただいまから第3回丹波市生涯学習推進審議会を開催いたします。 本日の会議は、委員14名中8名のご出席をいただいております。 (※開会時点は8名であったが、最終的に10名出席) 次に本会議の資料のご確認をさせていただきます。 (資料1～6について順番に確認) また、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。 ご発言いただく際にはマイクをお持ちいたしますので、お名前を仰っていただいた後にご発言くださいますよう、よろしくお願いいたします。 それでは次第に沿って進めさせていただきます。
事務局 会長	2. あいさつ 開会にあたり、会長よりごあいさつをいただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。 皆様、こんばんは。 第3回目ということで、大分内容も固まってきて、最終的な確認の段階に入ってきているかと思います。 本日はそれらも確認いただきますが、加えてフォーラムを開催するため、そこが本日の中心的なテーマになります。 その辺りについて、皆様からご意見をいただきたいと思います。 よろしくお願いいたします。
会長 事務局	3. 第2回丹波市生涯学習推進審議会の会議録について 事務局より説明をお願いいたします。 6月13日に開催いたしました、第2回丹波市生涯学習推進審議会の会議録につきましては、6月25日に最新の計画書案と合わせて共有させていただいたところです。 特に修正箇所のご報告はいただいておりますので、氏名を伏せた上で市のホームページにて公開させていただきますのでよろしくお願いいたします。
会長	ありがとうございます。
会長 委員 会長	4. 会議の公開・非公開の決定について 運営要領の第2条において、「会議の公開又は全部若しくは一部の非公開は、会長が会議に諮って、これを定める。」となっております。 本日の議事においては個人情報が特定されることはないと考えられますので、公開することとしますが、よろしいでしょうか。 異議なし。 ありがとうございます。それでは公開することとさせていただきます。

事務局 会長	本日、傍聴者はいらっしゃいますでしょうか。 現在のところ、傍聴者及び報道関係者はおられません。 分かりました。
会長 事務局	5. 協議事項 (1) 第2期丹波市生涯学習基本計画(案)について (2) 第2期丹波市生涯学習基本計画概要版(案)について 【資料①】第2期丹波市生涯学習基本計画(案) 【資料②】第2期丹波市生涯学習基本計画概要版(案) 事務局より(1)(2)続けて説明をお願いいたします。 計画書案については6月13日の第2回審議会にて皆様から色々のご意見をいただき、それを反映した案を6月25日に共有させていただいております。 そして、その案に対しても何点かご意見をいただいたため、今回お示ししている計画書案は6月25日に共有させていただいた計画書案から変更した箇所を抜粋したものとなっております。 まず、本編の変更箇所について説明いたします。 1点目は、P58のコラムに関してです。 社会教育士に関する文章の文末に「これからはあらゆる場所で活躍が求められており、丹波市内でも社会教育士が活動しています。」という文言を追加しました。 これは元々書いていたことではあるのですが、“市内で活動している”ということは社会教育士の上に書いている地域コミュニティ活動推進員、地域学校協働活動推進員も同じであるため、あえて書かなくても良いのではと判断し、一旦消していました。 しかし、社会教育士制度は令和2年度に始まった比較的新しい制度であり、現時点では未だ認知度が低いことがアンケート結果等からも読み取れるため、ここに書くことでより身近に感じていただけるのではないかという意見も受け、元あった記載を復元させました。 2点目は、P59の推進体制図に関してです。 「多様な人材」という記載を、『人づくり・つながりづくり・地域づくり』を支える人材」としました。 P60(2)連携体制と同様の表現に合わせ、整合を図る意図でございます。 3点目は、P69委員名簿に関してです。 萬浪委員の役職に変更があったため、現行の役職名に修正いたしました。 また、大槻委員の区分を「生涯学習団体の関係者」から「学校教育及び社会教育の関係者」に変更させていただきました。 柏原中学校学校運営協議会、地域学校協働活動推進員としての立場でご出席いただいていることから、より適合する区分に整理をさせていただいた次第です。 そうしたことで、「学校教育及び社会教育の関係者」「生涯学習団体の関係者」「公募による市民」がそれぞれ4名ずつとなり、バランスも取れるかと考えます。 続いて概要版をご覧いただきたいと思います。 前回の審議会で、“全体のボリューム感としてはこのくらいであろう”というところで共通認識をいただいていたかと思います。 後は、限られたページ数の中、出来るだけ同じ内容が重ならないようにするため、構成を少し変えさせていただきました。

	まず1点目、前回の案では基本理念の説明や基本方針で1ページ使用していましたが、それらは「基本理念のイメージ図」や「施策体系」とも重なる部分であるため、それらを省き、「この計画で取り組みたい重要課題」や「数値目標」、「推進体制図」を追加したり、吹き出しの中で自治基本条例のことにも触れたり、可能な限り各ページで独立した情報を掲載するようにしました。 2点目として、最初の「生涯学習ってなに？」のページに生涯学習の例を追加したり、写真をより分かりやすいものに差し替えました。 より多くの方に生涯学習を身近なものと感じていただけるよう工夫したというところです。 概要版の変更点としては以上となります。 今回の審議会を迎えるにあたり、6月20日には議会にて中間報告、7月1日には庁内の推進本部会議でも報告をしており、計画の内容については承認をいただいているため、現行の内容でパブリックコメントを実施したいと考えております。 後は、パブリックコメントで出た意見をどのように反映させるかという部分と、体裁に関する部分となります。 本審議会は9月末までであるため、それまでに計画の中身を完成させます。 そして、10月以降は事務局と印刷業者間で契約を締結し、冊子を作成する作業に入っていきます。 そこは事務局と業者間の調整になるため、最終的なデザインや体裁は事務局にお任せいただくことになります。 しかし、本審議会も残すところ1回の予定であるため、せっかくですから、デザインや体裁の部分、例えば施策体系図の色使い等、何かご意見があれば、この場でお聞きしておきたいと思います。 事務局からは以上となります。
会長	まず、本編の変更点について何かございますか。
委員	大槻委員の所属は、学校運営協議会の委員であり、地域学校協働活動推進員でもあるという認識ですが、いかがでしょうか。
事務局	同様の認識です。
委員	学校運営協議会の「委員」と書かれていないのが不正確ではないかと思います。
事務局	「学校運営協議会委員」という表現が正確かと思います。 そのように修正させていただきたいと思います。 よろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	では、そのように修正をお願いいたします。 他、何かお気付きの点はございますでしょうか。
委員	ちなみに、丹波市では地域学校協働活動推進員を何名委嘱していますか。
事務局	15名となります。
会長	ありがとうございます。 それでは、修正についてはご承認いただいたということにいたします。 続いて概要版ですが、出来上がりはカラーですね。

事務局	カラーとなります。
会長	お任せでよろしいでしょうか。
委員	表紙の雰囲気はもう少しデザイン性のあるものになりますか。 現在、文字だけの状態であるため、手に取りやすいかという点、若干取りにくいのかなと思います。
事務局	社会人になってから通信制の芸大に通われ、絵を学ばれている方がおられるため、その方に書いていただこうと考えており、内諾は得ております。 そういった形で、表紙は本編、概要版ともにデザイン性のあるものにし、また、今開いているページが何章にあたるのかが一目で分かるようにページにタグ付けする等、印刷業者と調整したいと考えています。
委員	概要版の「生涯学習ってなに？」の最下段右端の写真について、ちーたんの館の写真が使われ、「資料館、美術館」となっていますが、「資料館」という言葉は市民にとってイメージしやすいでしょうか。 個人的には「図書館」が入っていたら良いなと思います。 ちーたんの館はリニューアルし、「たんば恐竜博物館」となったため、入れるのであれば「博物館」で良いかと思います。
事務局	7月からリニューアルオープンした「たんば恐竜博物館」は博物館法上の博物館ではないため、あえて「博物館」という表現は用いませんでした。
委員	スペースはあると思うので、言葉だけでも「図書館」を入れていただけると嬉しいです。
事務局	検討いたします。
委員	博物館法上では美術館も博物館となります。
委員	春日歴史民俗資料館等が昔からあるため、私は「資料館」がしっくりきます。
委員	身近な施設として資料館があるのですね。 広い意味での社会教育施設を利用して学ぶ、という例ですね。 概要版は何部刷って、どのような使い方をされますか。
事務局	予算の都合もあるため検討中ですが、本編より多めに600部程度刷って、庁内各部署や委員の皆様はもちろん、自治会や自治協議会等にもお配りし、生涯学習の視点を持って各種活動をしていただくようお願いしたいと考えております。
委員	概要版の「生涯学習ってなに？」の部分の「料理や掃除、洗濯など日常生活で必要な知識を得る」や「子育てに必要なことを学ぶ」の写真を、例えば「パパのための子育て研修」や「シニア男性のための料理教室」といった写真があればジェンダー平等の観点から良いのかなと思います。
事務局	大変貴重な視点でのご意見でした。
委員	ヒドゥン・カリキュラムというものです。 そこをひっくり返すのは良いかと思います。

事務局	写真は使用許可の関係等もあるため、そういった点も考慮して検討したいと思います。
委員	「生涯学習ってなに？」の部分に「自治会・自治協議会の活動」とありますが、地域によっては「自治振興会」という組織名で活動されているところがあります。自治協議会の中に自治振興会も入っているのでしょうか。
事務局	自治振興会は自治協議会の中に含まれているという位置付けとなるため、こういった表記としております。
委員	概要版の「この計画で取り組みたい重要課題」②の説明文に「効率的な情報発信をしたい。」とありますが、「効率的な」という表現がイメージしにくいです。
事務局	本編では「学びの場や人材に関する情報を集約する機能が必要です。」と書いており、「集約」という部分を「効率的」といった言葉に置き換えたのですが、イコールの意味でもないですし、変更した方が良いかも知れませんね。 「効果的な情報発信」等にすれば本編の記述ともリンクするかと思います。
委員	「効果的な」がイメージしやすいですね。
会長	そんなところでしょうか。 今いただいたご意見を反映いただき、デザインの部分はお任せいたしますので、よろしくお願いいたします。
	(3) パブリックコメント及びフォーラムの実施について 【資料③】パブリックコメント（案） 【資料④】フォーラム（案） 【資料⑤】フォーラムシナリオ（案） 【資料⑥】フォーラムチラシ（案）
会長	事務局より説明をお願いいたします。
事務局	まずパブリックコメントについてです。 募集要領の「3 募集期間」は本資料では空白にしていますが、7月29日に総務文教常任委員協議会でパブリックコメント実施の報告をした後に実施することとしていますので、7月末または8月初頭から1ヵ月間の期間となります。
	～以降、パブリックコメントの要領について説明～
会長	パブリックコメントの実施について何かご意見はございますでしょうか。
委員	提出用紙の下部の注釈部分、1つ目の注釈の下に括弧書きで「匿名によるご意見・ご提案の提出は受付ができませんのでご了承ください。」とありますが、これも※を付けて独立させた方が分かりやすいと思います。 そうするとパブリックコメントを出す人が少なくなってしまうかも知れませんが、市民にとってはハッキリしている方が分かりやすいと思います。
事務局	分かりやすくするため、そういった表記にする方向で検討いたします。
委員	公開の時は、市としての回答も示すのですか。

事務局	“このような意見があった”、それに対して“このように回答します”といった一覧表を作成し、公開します。
会長	よろしいでしょうか。 それでは、このような形でパブリックコメントを進めていただきます。 続いて、今日のメインテーマでもあるフォーラムの実施に関して事務局より説明をお願いいたします。
事務局	日時と会場については前回の審議会で決定しており、後は“気軽に話が聴ける場にして多くの方に参加いただく”という方向で議論が固まっております。 そういった方向でプログラムを組ませていただいております。 サブタイトルを「～学びで人生を彩ろう～」として、生涯学習に取り組むことや“生涯学習をしている”という意識があることで、より人生は豊かになるということを感じていただける場にしたいと考えております。 全体として堅苦しくなく、和やかな雰囲気の下に開催したいと思っております。 「(2) 生涯学習ってなに？」の部分については、専門用語や教科書的な説明では伝わりにくいため、出来るだけざっくばらんに経験談等も交えつつ話が出来れば良いかと考えております。 「(3) 学びのスペシャリスト達にきいてみよう♪」の部分では、本計画の3つのキーワードである「楽しく学ぶ」「ワクワクしてつながる」「一緒にやってみる」にマッチする方を3名お呼びし、発表いただきたいと考えております。 1つ目の「楽しく学ぶ」では、宮野さん（令和7年 丹波市二十歳のつどい実行委員会）に発表をお願いしております。 丹波市では二十歳のつどいを実行委員会形式で開催しており、二十歳を迎えられた方数名に実行委員になっていただいております。 単なるお祝いではなく、学びの場となるように開催しております。 2部制で1部が式典、2部がアトラクションとなっており、実行委員は主にアトラクションの企画立案や運営に携わっていただいております。 9回程度の会議を重ね、対話を大切にし、ご自身も楽しみながら取り組んでおられましたので、そういった発表をしていただきます。 2つ目の「ワクワクしてつながる」では、吉良さん（丹波市立文化ホールオペレータークラブZERO-IV）に発表をお願いしております。 丹波市には2館の文化ホールがあり、コンサートや講演会等での照明、音響、舞台、フロアでのチケットもぎり等の裏方を市民ボランティアであるオペレータークラブZERO-IVの皆様にご担当いただいております。 市民ボランティアがそこまで関わってホール運営をしているのは全国的に見ても珍しい例であり、“丹波市ならでは”のホール運営と言えます。 吉良さんは常に意欲的に学び続けておられる方で、豊富な経験に基づいた発表をしていただけるかと思っております。 3つ目の「一緒にやってみる」では、本審議会の委員も担当いただいております藤原さん（スポーツクラブ21氷上東）に発表をお願いしております。 人材育成や地域コミュニティ形成のためにチャレンジ精神を持って取り組んでおられますので、このテーマに相応しいと思い、ご依頼させていただきました。 その後、発表は終わればコメンテーターからの感想や質問、発表者同士での質問、参加者からの質問といった「(4) ディスカッション」を挟み、 「(5) 計画について学ぼう！」で概要版に基づいて説明、全体的な質疑応答を経て閉会という流れで、全体で90分を想定しております。

	申込締切は8月12日（火）とし、定員は80名ということでこの部屋のキャパシティを考慮した設定にしております。 その人数を集めるつもりで動きますので、ぜひ委員の皆様にもお知り合いの方に呼び掛けていただきたいと思いますっております。 そして、この計画は自治基本条例に基づいて市民の参画の下につくる計画であるということで、委員の皆様には各役割を担っていただきたいと思いますっております。 そうすることで、市民の方にも計画の内容や「生涯学習」という言葉を身近に感じていただけるものと考えております。 ～以降、資料に基づき各委員の役割やシナリオについて説明～ 出来るだけ発表者やコメンテーターと参加者の距離を近くし、熱量が伝わるようにしたいと考えております。 広報を速やかに実施していく必要があるため、大枠としてはこのような形で固めさせていただきたいと思っておりますが、進行や細部について皆様のご意見もお聞きしながら進めたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
会長	全員集合となっておりますので、皆様、よろしくお願いいたします。 色々と役割も担っていただきますので、よろしくお願いいたします。
事務局	「（５）計画について学ぼう！」はこの計画書案の説明ですね。
事務局	本編はボリュームがあるため、基本的には概要版に基づいての説明という形になります。
会長	藤原委員はスペシャリストということでよろしくお願いいたします。
委員	「（５）計画について学ぼう！」の説明を担当するというので、これを見ながら色々と考え、原稿を作ろうとしているのですが、一度見ていただいた方がよいと思っています。いつまでにお送りさせていただけばよいでしょうか。
事務局	今の進捗はどのような感じでしょうか。
委員	正直に言うと、100%中、10%です。 今までの経過や中身を拾って説明するだけではなかなか伝わらないと思いますので。
会長	概要を説明するだけなら事務局や私がすれば済む話であり、大槻委員に願うということは、大槻委員の視点から、これまでの議論を踏まえてお話いただきたいということですので、自由にお話いただければ良いかと思います。
事務局	出来るだけ教科書的な説明に終始しないように、せっかく大槻委員ならではの視点を持って関わってくださっているの、ご自身の経験談等も交えながらお話いただければと思っております。 原稿の締切ですが、理想を言うと8月5日や6日辺りに最終のものでなくても良いので見せていただければと思っております。 随時、やりとりさせていただきながら進めたいと思っております。
委員	当日、その場の雰囲気に合わせてアドリブで話すのもありと思います。
事務局	はい。アドリブも大いにあります。
会長	「（２）生涯学習ってなに？」の部分の説明はどのような感じでしょうか。

委員	依頼を受けた時に、あまり難しい表現は止めておけということでした。 原稿を作ると、その棒読みのようになってしまうのも困るなど思いながら今日この会に来たのですが、大槻委員から“原稿を作る”という話が出たため、弱ったと感じました。 文章を書くときあまり上手いかわからないため、“書かないといけない”ということなら箇条書きくらいでお許しいただけるとありがたいです。 進捗としては、現在1～2%程度ですが、よろしくお願いいたします。
委員	メモ程度のものだけ作って、自由に話していただければと思います。
事務局	それぞれのスタイルがありますので、原稿がなくても構いません。 “こんなことを話しますよ”程度のもので結構ですので、よろしくお願いいたします。
会長	正副会長でコメンテーターをしますが、これはもう、ぶっつけ本番になりますね。直前に正副会長で少し打合せするくらいですね。
委員	細かくシナリオを考えていただき、流れは分かりやすく理解しました。 少し気になったのが、会場の雰囲気です。 楽しそうな、柔らかな雰囲気にしようということと思いますが、演台等が出ると式典のようになってしまうかと。 最終的には委員が前に並ぶと仰っていましたね。
事務局	前に座っていただくかと思っております。
委員	テーブルも出しますか。
事務局	委員さんはテーブルあり、参加者はテーブルなしです。
委員	テーブルはいらないのではないかと思います。 少し距離感が出るため、参加者と近い方が良いかと思います。 発表者は手元資料を見たりするのにテーブルがあった方が良いかと思います。 ただ、演台はどうしても式典っぽさが出てしまうため、基本的に椅子だけで良いのではないのでしょうか。 対立構造のようにならない方が良いかと思います。
委員	椅子もキッチリ並べるのではなく、仲間同士で座れるよう、まばらに置いてあれば良いかと思います。
事務局	出来るだけ柔らかな雰囲気の中で実施したいと思っております。 発表者の方には、“その場に留まって話す”というよりは、動いて参加者に問いかけたりしながら話して欲しいとお伝えしております。
委員	委員全員が前に並んでしまうと、委員と参加者の対立構造のようになってしまうため、“何となくその辺りにいる”、というような形で良いかと思います。
事務局	ご意見を踏まえ、検討させていただきます。
会長	他にお気付きの点はありますか。
委員	この日、参加者は手元にどのような資料を持っているのでしょうか。 本編を持たれているのでしょうか。

事務局	概要版（案）とパブリックコメント関係書類（チラシ、要領、用紙）ですね。 最終的にはパブリックコメントの提出に繋がっていただければ良いなと考えております。
委員	そうなった時に、本編を見ないと書けないのではないかと。 とは言え、この場で本編を読んでパブリックコメントを書くというのも難しく、この厚みのあるものを配るのも負担かと思います。 せっかくならこの会の間に本編を読める仕掛けがあれば良いかと思います。 概要版に対してパブリックコメントは出来ないと思いますし。 パブコメミーティングでは本編を後で回収しますが、一旦は目を通していただいています。
委員	パブリックコメントを通して最終的に計画の完成ですよね。 全員に本編を配るのは大変ですが、何冊か置いておいても良いかも知れませんね。
事務局	この場で書いて出せるように、後方に提出箱と本編を何冊か置いておく想定ではありました。
委員	本編は何ページありますか。
事務局	フォーラムの様子等も後で入れ込むと、85 ページ程度になるかと思います。
委員	“こんなものが出来ます” ということで、現物はいくつかあった方が良いでしょうね。 先着 80 名ということで、人を集める仕掛けはありますか。
事務局	「先着」という言葉を入れることで“早めに申し込まないと”という気持ちになっていただけるかなと思いました。 また、積極的に声掛けをしていきたいと思っております。
委員	当日来ても良いわけですよね。
事務局	当日参加も可能です。
委員	人数把握のための申込制ということですね。
事務局	そうですね。人数によって椅子の個数や会場のレイアウト等も変わってくる場合があります。
委員	“当日参加可能” というニュアンスをチラシに入れておいても良いかと思いました。 急に予定が変わって参加出来るようになる人もいるかも知れないですし、そうすることで参加へのハードルが下がるかなと思いました。
委員	ちーたんのグッズ等、お土産みたいなものがあっても良いかと思います。
事務局	検討いたします。
委員	最初に「（２）生涯学習ってなに？」の説明、次に「（３）学びのスペシャリスト達にきいてみよう♪」、「（４）ディスカッション」、その後に「（５）計画について学ぼう！」という流れですが、（３）の前に（５）の説明をした方が、（３）の意図が伝わりやすいのではないかと思います。 事務局として意図があるならこれでも良いかとは思いますが。

	しかし、時間が押すのではないかとこのころを心配しており、計画の説明は重要な部分なので、時間のある内に先に説明しておいた方が良いのではないかと思います。 そうすることで、3名のスペシャリストの話を聴く視点も変わってくるかと思いました。
事務局	説明が連続すると参加者が受け身になってしまうため、スペシャリストの話とディスカッションが先にあることで場が和やかになると思い、この順番にしました。 しかし、そのご意見も尤もで、「楽しく学ぶ」、「ワクワクしてつながる」、「一緒にやってみる」の3つのキーワードは計画の中で出てくるものであるため、計画の説明がないと、“そもそも、そのキーワードは何なのか”ということにもなるかも知れませんね。
委員	しかし、計画の説明が先に来ると重たいのではないかと思います。
事務局	はい。それも加味して、この順番にしました。
委員	この会議でも議論してきたのは“生涯学習って何なのか”というところで、“こういう学びがある”、という話をしながら計画書案が出来上がったという位置付けで良いのではないのでしょうか。 大槻委員も、“こんな話があった中で、この計画書案が出てきた”という流れで説明いただければと思います。 計画の説明をして、“さあ、パブリックコメントどうぞ”、という場ではなく、「まなび☆ときめきミーティング」です。 “生涯学習って何だろう”というところから入っていくのも良いかと思います。
委員	全体のタイムキーパーは誰がするのでしょうか。 司会ですかね。
事務局	そうですね。基本的には司会にお願いすることとなりますが、事務局もサポートしたいと思っております。 司会担当の方にはその辺りを繋いでおく必要がありますね。
委員	暑い時期であるため、“飲み物持参”といったことはチラシに書いていただけるのでしょうか。
事務局	住民センターでの飲食は大々的には認めていないため、チラシには記載しにくい部分があります。しかし、仰られるように熱中症等も懸念されるため、そういった兼ね合いも勘案して検討いたします。
委員	今よりも暑いかも知れませんね。
事務局	参加者がたくさん集まればその分、気温も上がるため、そういった点も含めて検討いたします。
委員	私から言うのもなんですが、皆様、ラフな格好で来てください。
事務局	この場を楽しんでいただければ幸いです。
会長	当日は皆様、よろしくお願いいたします。

会長 事務局	(4) 今後のスケジュールについて 事務局より説明をお願いいたします。 ～資料に基づいて説明～ 7月29日の総務文教常任委員協議会后、速やかにパブリックコメント実施に移りたいと思いますので、本日頂戴した意見を全ては反映しきれない部分もあるかも知れません。 特に写真の差し替え等は手配が間に合わない場合もあるかも知れませんが、ご了承いただきたいと思います。 9月24日(水)の第4回審議会が、予定している最後の審議会となり、そこでパブリックコメントの意見反映をどうするかといった議論を行います。 そして、資料には記載しておりませんが、その後に会長から市長への答申手交であったり、計画の庁内決裁といったプロセスを踏みます。 9月末まででこの審議会は終了となり、10月以降は冊子の作成を進めていくこととなります。 なお、パブリックコメントの開始は7月29日の総務文教常任委員協議会后となりますが、フォーラムは開催まで1ヶ月を切っているため、この審議会後、直ちに募集を開始したいと考えております。 10月以降は新しい委員の方々を選出する必要があります。 可能な限り多様な団体の方が関われるように、という意見を議会からもいただいているため、そういった方向で調整を進めております。 公募委員も3名程度、7月25日頃から募集を開始いたしますので、お知らせしておきます。 会長 ありがとうございました。 いよいよ大詰めとなってまいりました。 よろしくお願いいたします。 皆様から何かございませんか。 委員 ～市民活動支援センターの実施事業に関するチラシについて説明～ 事務局 ありがとうございました。 他の委員の皆様も各団体で実施される取り組みのチラシ等がございましたら印刷してお持ちいただき、報告いただければと思っております。 今後ともよろしくお願いいたします。 会長 6. 閉会 ありがとうございました。 それでは、本日の審議会を終了させていただきます。 <tr> <td data-bbox="181 1854 386 2036"></td><td data-bbox="386 1854 1418 2036"> 次回(第4回)生涯学習推進審議会の日程 令和7年9月24日(水) 19時00分～21時00分 丹波市立氷上住民センター 大会議室 </td></tr>		次回(第4回)生涯学習推進審議会の日程 令和7年9月24日(水) 19時00分～21時00分 丹波市立氷上住民センター 大会議室
	次回(第4回)生涯学習推進審議会の日程 令和7年9月24日(水) 19時00分～21時00分 丹波市立氷上住民センター 大会議室		